

ETV-BTH1POE

NBN-H1N4P4-T36.5



オペレーションマニュアル

(Ver 1.02)

ELMO K-grande Corporation

1. 警告

Warning



- 設置スペースが足りない場所には設置しないでください。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
- 近くに電力線を設置しないでください。
- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。



- 火災や感電などの恐れがありますので、専門の販売店にご相談ください。
- 点滅する光の下にインストールしないでください。
- 煙や異常な熱がある場合は使用を中止してください。
- デバイスを分解したり、異物を入れたりしないでください。

定格機器（業務用放送通信機器のみ）

ユーザー/販売者は、これの下でビジネス用途のみのA定格デバイスである必要があり、ビジネス用途以外に使用しないでください。

2注意

<設置環境>

○カメラ全般

- 高温多湿の環境での連続使用は避けてください。劣化により製品寿命が短くなります。
- 設置場所での熱、放射熱の直接的な接触に注意してください
- 製品が電源ラインに近接している場合は、1m以上離すか、金属パイプを分離して配管工事を行った後、装置を設置してください（必ず金属パイプを接地してください）
- 床や斜面に設置した場合、正常に動作しない場合や、製品寿命が短くなる場合があります。
- ネットワークコネクタポート、外部alarm、および電源入力ポートは防水ではありません。水につけないように注意してください。
- 強い光がカメラに直接向けられないことに注意してください。スポットライトなどの強い光が画面に入射すると、ブルーミングやスミアが発生する場合があります。また、センサーのカラーフィルターの劣化により、変色する場合があります。また、カバーの内部反射により異常信号が発生する場合があります

○IPカメラ

- IPカメラのライブビデオを表示するには、VLCメディアプレーヤーをPCにインストールする必要があります。最新バージョンのインターネットブラウザを使用してください。
- JPEG画像のプロパティは変更できません。1920x1080の解像度と高品質に固定されています。JPEGビューは1fpsのみをサポートします。より高いフレームレートについては、H.264ビューを使用してください。
- アップグレード中はカメラの電源を入れたままにしてください

○サーマル

- 熱検知カメラは実際に体温が高い人を直接検出できるわけではありません。表面温度を測ることしかできず、Bodyモードの場合でも表面温度の実測値を体温近くの温度へ補正したものになります。また、外部環境や設置方法によって精度が影響します。熱検知カメラはあくまで体温測定前の一次スクリーニングの参考としてご使用ください。
- 入口と出口の動線を区別して設置してください。（詳細後述）
- ROI(検出エリア)内には、検温対象外の人や金属製の壁が入らないようにお願いします（詳細後述）

- ・ カメラと人の適切な距離と撮影範囲を設定してください（詳細後述）
- ・ 「距離」がカメラから測定対象までの実際の距離と異なる場合、温度が下がります。距離を正確に設定してください。
- ・ 設定距離が実際の距離と異なる場合、温度が正しく測定されない場合があります。
- ・ 熱検出カメラには屋内設置を強くお勧めします。
- ・ 高温の物体を測定することはお勧めしません。
- ・ 人体に対する外部環境の影響を排除するために屋内に入ってから十分な時間をおいてから測温してください。
- ・ 人体温度を測定する場合、より正確な値を得るために、指定された場所で少なくとも1秒間停止（3秒推奨）することをお勧めします。
- ・ カメラのアラーム状態は、人体に関係のない30℃以下および40℃以上の温度を除外します。また動かないものも除外します。
- ・ カメラの起動後、約5分間（最大15分間）の安定時間が必要です。この安定時間後はカメラを使用する必要があります。（安定化中の黄色のボックス、安定化完了後の緑のボックス）
- ・ 電源入力後とモード切り替え後（Skin, Body）は、30回以上テスト検温をしてから本番運用をしてください（詳細後述）

○以下の場所での使用は避けてください

- ・ 急激な温度変化が発生する場所。エアコン周りなど
- ・ 蒸気、油、または可燃性物質のある場所。キッチンなど
- ・ 放射線、X線、強い電波、磁気が発生する場所
- ・ 自動車の大気や排気ガス中に粉塵が多く発生する場所
- ・ 腐食性ガスが発生する場所。海岸などの湿気の多い場所は避けてください

<使用上の注意>

- ・ カバーに強い衝撃が加わると、雨の場合にカメラの損傷や浸水を引き起こす可能性があります
- ・ 製品の落下、強い衝撃、振動は避けてください。故障の直接の原因となります。

<メンテナンス>

- ・ カバーの内側/外側が異物で汚染されている場合、画像や品質に影響を与える可能性があります。
- ・ 定期的にデバイスを掃除してください。
- ・ カメラレンズ及びセンサー部にはなるべく触れないでください。汚れは柔らかい布でふき取ってください。

[重要]熱検知カメラは実際に体温が高い人を直接検出できるわけではありません。表面温度を測ることしかできず、Bodyモードの場合でも表面温度の実測値を体温近くの温度へ補正したものになります。また、外部環境や設置方法によって精度が影響します。熱検知カメラはあくまで体温測定前の一次スクリーニングの参考としてご使用ください。

注意：この製品は医療機器ではありません。

本オペレーションマニュアルは、原則として製品が発売された当初のものを掲載しています。

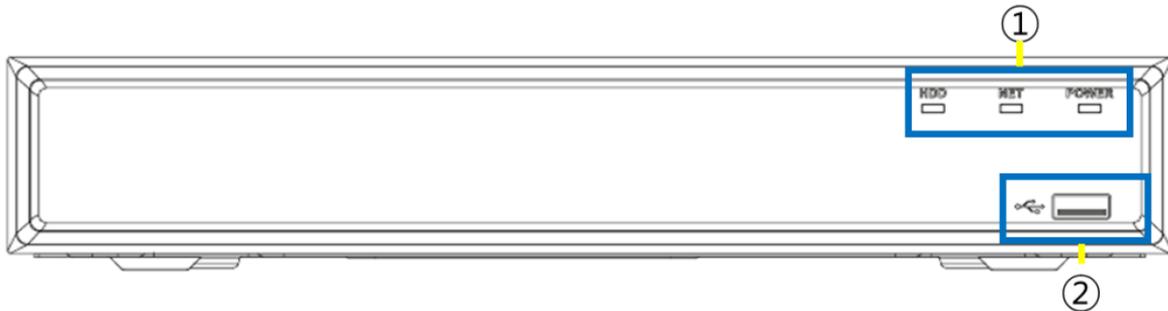
従って、記載内容とお客様がお持ちの製品の仕様が、その後のマイナーチェンジなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

目次

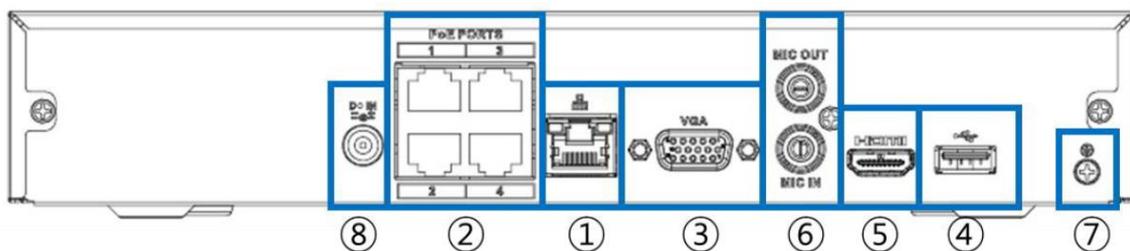
1. 警告	3
2. 注意（設定、設置についての注意です。必ず確認してください）	3
3. 製品説明	7
3-1 NVR	7
3-2 カメラ	8
3-3 3脚用ブラケットについて	8
3-4 同梱品（NVR, カメラ）	9
4. 設置イメージ	9
5. 設置ガイド	10
6. 起動と終了	11
7. ライブビューモード	12
7-1 ステータスバーについて	13
7-2 ステータスバーを非表示にする方法	13
8. 検出距離とROI（検出エリア）の設定	14
9. アラーム温度設定	14
9-1 カメラ設定以外の設定方法	15
10. Normal 平均温度の設定	16
10-1 NORMAL（平均温度）を非表示にする場合	16
11. ファームウェア（F/W）について	17
11-1 ファームウェアアップグレード	17
12. 掲示板	18
13. 温度表示ボックスの座標補正	18
14. 録画データを検索および再生する方法	19
15. バックアップ	19
15-1 バックアップメニューの説明	20
15-2 バックアップファイルの閲覧	21
16. ブザー音をOFFにする方法	24

3. 製品説明

3-1 NVR : NBN-H1N4P4-T36.5



名称	機能説明	
1	HDD	HDDの読み取りまたは書き込み中に点滅
	NET	ネットワーク接続ステータスを表示します。ネットワークが接続されている場合にオンになります
	POWER	電源ON時に点灯
2	USBポート	USBメモリまたはマウス用のUSBポート バックアップUSB : FAT32 (最大32 GB)

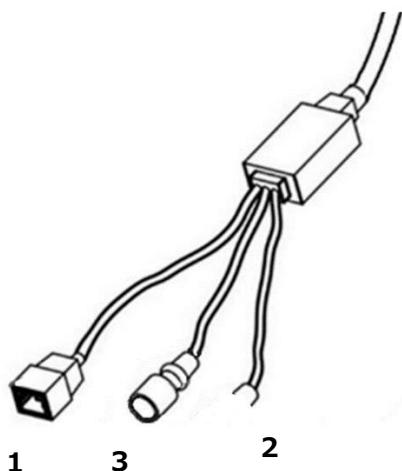
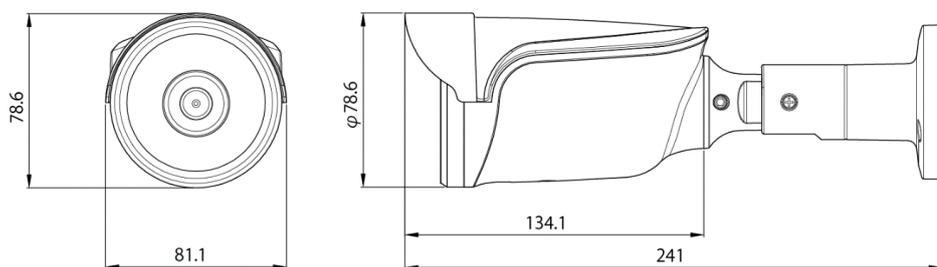


注意：イメージと異なる場合があります

名称	機能説明	
1	LAN	ネットワーク接続端子 RJ 45×1 (10 / 100Mbps)
2	POEポート	PoE IPカメラ用のネットワーク接続端子 (RJ 45)
3	VGA	VGAモニターのビデオ出力ポート (1920×1080)
4	USB	USBメモリまたはマウス用のUSBポート バックアップUSB : FAT32 (最大32 GB)
5	HDMI	メイン (HDMI) モニター用のビデオ出力ポート (1080 p)
6	MIC OUT MIC IN	MIC OUT : スピーカー出力端子 MIC IN : 音声入力接続端子
7	Ground	NVRのグラウンド (GND) アース
8	DC IN	DC 48Vアダプターポート (DC 48V 1.25A)

注意：他 IP カメラとの接続はサポート対象外です。

3-2 カメラ : ETV-BTH1POE



No	説明
1	ネットワークコネクタポート
2	外部アラーム (熱または炎検知カメラ) 動作保障しません。
3	DC電源入力ポート

3-3 3脚用ブラケットについて

カメラ背面部分に3脚用ブラケットをビスで固定し、三脚のカメラ台にカメラを取り付けます。



カメラ背面



三脚用ブラケット



カメラ台 (イメージ)



設置完成図 (イメージ)

※三脚の取扱いは使用する三脚の取扱説明書を参照ください。

カメラを三脚に固定する際は、カメラ背面の金具部が下へおれるように支点部を緩めて回転させる必要があります。作業方法は動画にてご確認ください。

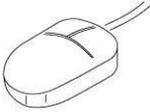
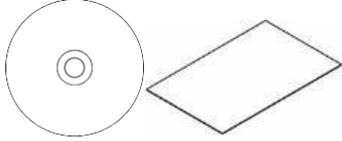
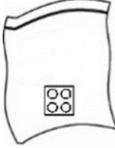
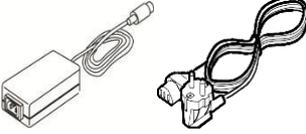
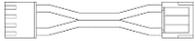
QRコード読み取り



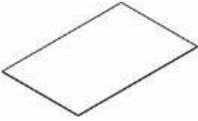
3-4 同梱品

全てのパーツが揃っているかをご確認ください。

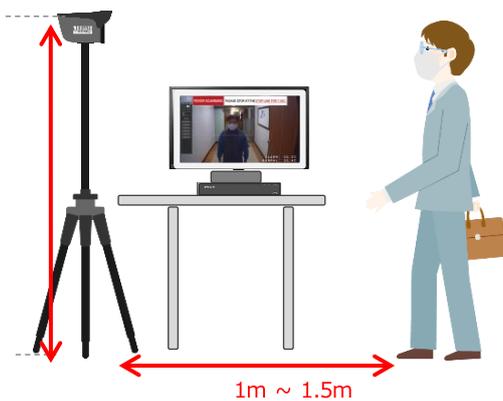
NVR

		
NVR	マウス	CD-ROM オペレーションマニュアル
		
底板用ゴム足	アダプター & 電源コード	LAN ケーブル

カメラ

			
ガイドシール	CD-ROM	ケーブルグラント 1セット	六角レンチ x 1 ネジ x 3 アンカー x 3

4. 設置イメージ



モニター、三脚は別売りとなります。

5. 設置ガイド

このソリューションの主な目的は、熱が高い訪問者と、検査官の間の接触を最小限に抑えることです。下記のガイドに従って、ソリューションをインストール/操作します。

1. 入口と出口の動線を区別

- ウイルスの拡散を防ぐため熱が高い訪問者を制御する
- 未検査の人々と検査を受けた人々との間の接触を最小限に抑える。

2. 検知エリアを入口からできるだけ遠くに配置してください

- 屋外と屋内の温度差による誤った検出を最小限に抑えるため。
- 屋外の温度差が軽減されてから検出することをお勧めします

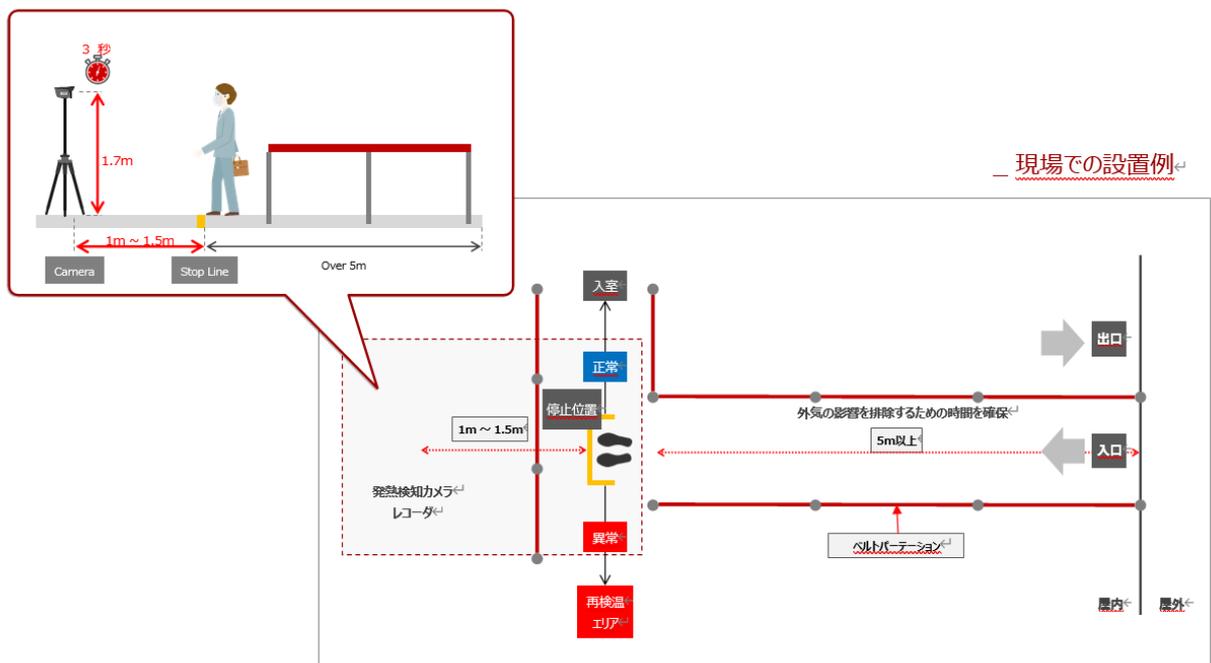
3. ROI(検出エリア)内には、検温対象外の人や金属製の壁が入らないようにします。

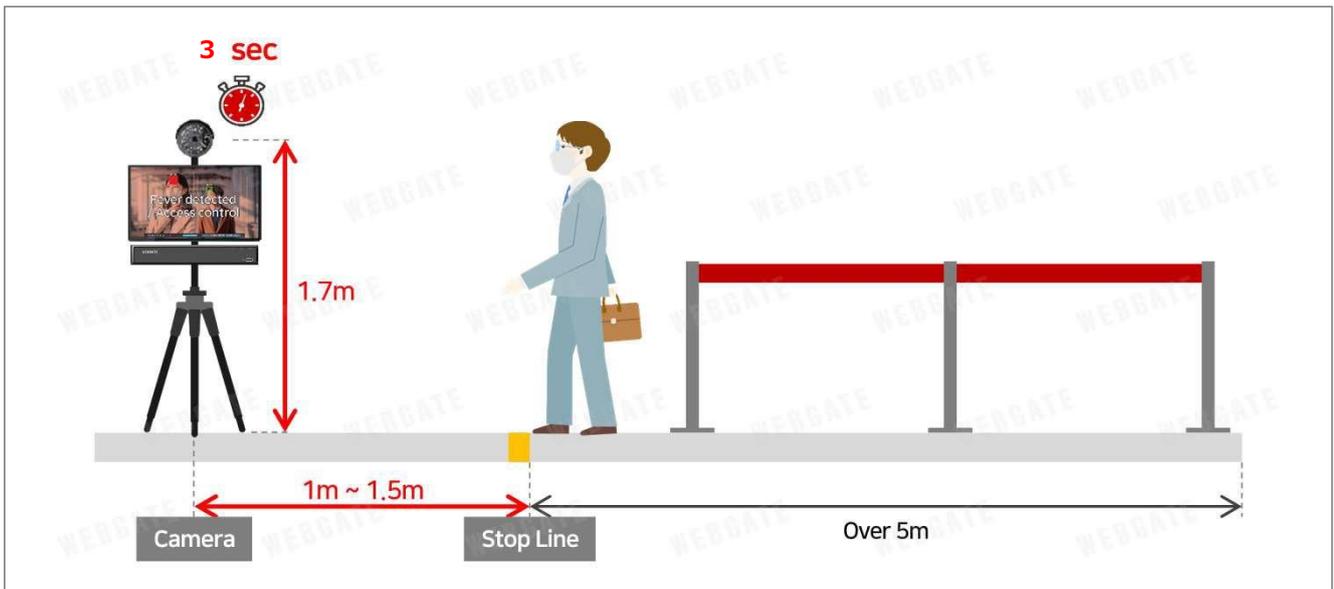
- 検温対象外の人々の温度の方を表示させる可能性があります。
- 壁が赤外線を反射することによって温度測定に誤差を表示させる可能性があります。

4. カメラと人の適切な距離と撮影範囲を設定します

- ストップラインはカメラから1～1.5m離れて設定することをお勧めします。(1～1.5m推奨)
- 測定終了後に人がカメラに近づかないように、移動ラインをブロックバーなどでガードしてください。

5. カメラ接続数は3台推奨





上の図のように取り付けを行い、ROIエリア内に30℃を超えるオブジェクトがないことを確認してください。人とカメラの距離が1m以内にならないようにフェンスやバーを設置することをお勧めします。

6. 起動と終了

(1) 起動

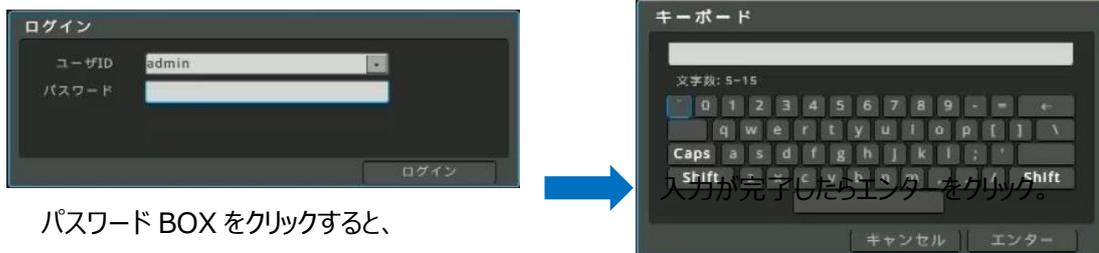
レコーダの電源を挿入すると、起動を始めます。モニターに起動画面を表示した後、ログインメニューが表示されます。

ユーザIDを選択し、パスワードを入力したら、「ログイン」をクリックします。

パスワードはバーチャルキーボードを使って入力します。

初期設定は、ユーザーID : admin、パスワード:12345です。

ライブ画面が表示された後は、マウス操作でご使用ください。

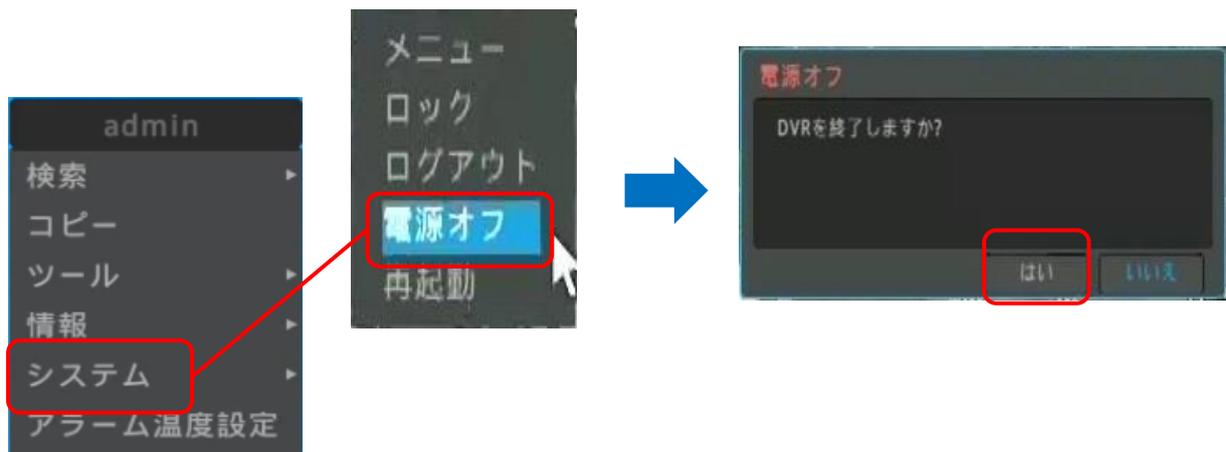


パスワードBOXをクリックすると、

(2) 終了 バーチャルキーボードが表示されます。

DVRの電源を切るときには、マウスを右クリックしてショートカットメニューを表示させ、「システム→電源オフ」をクリックしてください。

ポップアップメッセージ「DVRを終了しますか?」が表示されたら「はい」をクリックします。



7. ライブビューモード



7-1 ステータスバーについて



ライブ画面の下端にステータスバーが表示されます。画面上の【NORMAL】が隠れてしまいます。

マウスを右クリックしてショートカットメニューを表示させれば、上記操作は可能です。必要ない場合は非表示にします。

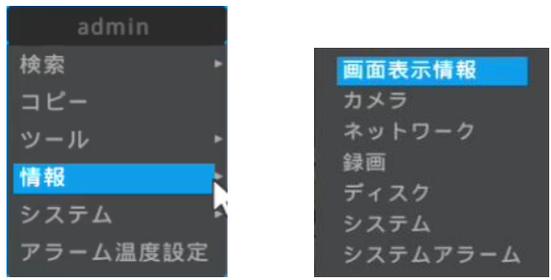
ステータスバーから各種の操作を実行出来ます。

- ② 検索……………検索・再生モードに移行します。
- ② FUN(ファンクション) ……ショートカットメニューを表示します。
- ③ マルチ ……画面の表示モードを切替えます。
(1 画面/4 分割画面)
- ③ フリーズ ……現在の表示画面を静止させます。もう一度クリックするとライブ表示に戻ります。
- ④ メニュー ……設定メニューを起動します。

7-2 ステータスバーを非表示にする方法

画面上の【NORMAL】が隠れてしまいます。マウスを右クリックしてショートカットメニューを表示させれば、上記操作は可能です。必要ない場合は以下の手順にて非表示にします。

- (1) マウスを右クリックしてショートカットメニューを表示させ、「情報→画面表示情報」に進みます。



- (2) 画面表示情報が表示されます。



- (3) ステータスバーのプルダウンメニューから【非表示】を選択すると、ステータスバーは非表示されます。
- (4) 右上の【×】で終了します。

8. 検出距離と ROI（検出エリア）の設定

1. ライブビュー>マウスの右クリック> [ツール]> [カメラ設定]
2. チャンネルでカメラチャンネルをプルダウンメニューから選びます。
3. [カメラ設定]をクリックすると、カメラの05Dメニューが開きます。
4. 「↓」を使用して「THERMAL」>「SETUP」に移動します。

距離とROI（温度検出エリア）を以下のように設定します。

DISTANCE（距離）：カメラと人との距離。1~1.5m推奨。

ROI：温度検出エリアのサイズと位置を設定します。

POS X、Y：検出エリアの位置。

SIZE X、Y：検出エリアのサイズ。

※カメラOSDメニューはEnglishバージョンのみです。

4. ROIは最大2カ所の検出エリアを設定出来ます。
5. 「↓」を使用して ROI 設定に進みます。
6. 「ZONE NUM」にて温度検出エリアをゾーンNO1及び2を選択します。▶で選択できます。
7. 「ZONE DISP」でゾーン表示をするか、ON/OFFから選択します。▶で選択
8. 「POS X、Y」「SIZE X、Y」で検出エリアの位置とサイズを決定します。◀▶を使用
9. 「RETURN」（戻る）で、OSDメニューの最初のページに戻ります。
10. 「EXIT」>「↓」>「SAVE&EXIT」で保存し、OSDメニューを終了します。

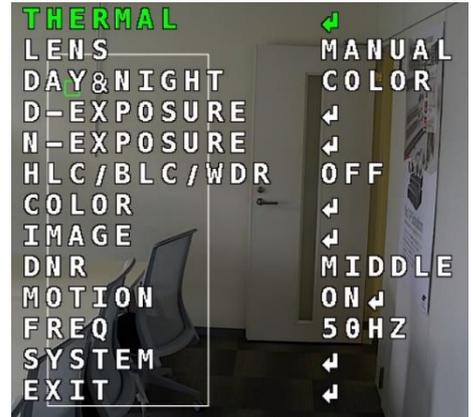
注意：

ROI 内に熱が発する物が入らないよう注意して設置してください。ROI 内の表示温度は、エリアに誰も進入していない場合は、システム最低温度の 30.0℃が表示されるようにエリアを設定します。

ROI 内が 30.0℃以外の温度を表示している場合は、温度を測定しない位置にするなど、工夫します。

1つのエリアには一人ずつ温度測定が可能。エリア内で一番高い温度が表示されます。

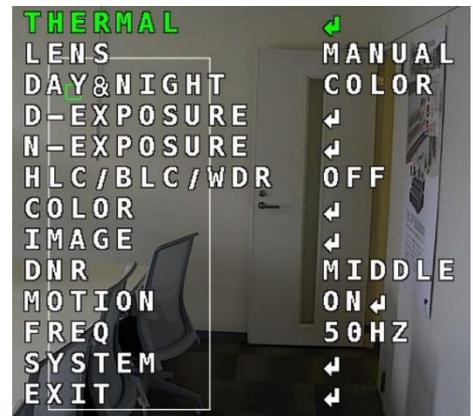
測定範囲 30℃~40℃



9. アラーム温度設定

ROI エリア内で測定される、アラーム温度のしきい値を設定します。

1. ライブビュー>マウスの右クリック> [ツール]> [カメラ設定]
2. チャンネルでカメラチャンネルをプルダウンメニューから選びます。
3. [カメラ設定]をクリックすると、カメラの05Dメニューが開きます。
4. 「↓」を使用してTHERMAL> SETUP > DEGREEに進み、AUTOかMANUALを選択します。▶で変更できます。
5. 【↓】をクリックし、温度を設定します。AUTOデフォルト+1.5℃



AUTO : 平均温度から+〇℃でアラームが発報します。+0.5~+3.0℃の範囲で 0.5℃単位で設定

MANUAL : 平均温度ではなく、設定温度になるとアラームが発報します。30.0~40.0℃の範囲で 0.1℃単位で設定

9-1 カメラ設定以外の設定方法

1. ライブビュー>マウスの右クリック>アラーム温度設定を選択します。
2. 画面の左側にメニューがポップアップします。
3. ボディ/スキンから選択します。
 スキン : 表面温度の実測値
 ボディ : 体温換算の補正
 自動 : デフォルト+1.5℃
 手動 : アラーム温度を 33℃~37℃から選択できます。

表面温度の実測値は、一般的に体温よりも低くなります。

表面温度を体温に換算し補正されます。

自動 : 平均温度から+〇℃でアラームが発報します。+0.5~+3.0℃の範囲で 0.5℃単位で設定

手動 : 平均温度ではなく、設定温度になるとアラームが発報します。30.0~40.0℃の範囲で設定

摂氏 : °C 華氏 : °F



自動モード



手動モード

10. Normal 平均温度の設定

平均温度は 10 分間隔で平均値を割り出します。
初期の設定や毎日の測定前に行うことが有効的です。

温度設定方法

現在の温度を Normal（平均）温度でセットする

1. ライブビュー>マウスの右クリック>アラーム温度設定を選択します。
2. 画面の左側にメニューがポップアップします。
3. 通常セットをクリックします。
4. ROI エリア内に平均値にしたい温度の人が立ち、【標準温度を設定】をクリックします。
5. 標準温度に適應する場合は【OK】を選択します。適應しない場合は【キャンセル】を選択します。
6. 【標準温度を適用します】をクリックすると、保存した標準温度を Normal（平均）温度として適用させます。

設定した標準温度を設定時間に自動的に適應させる事が可能です。
チェックボックスを選択し、時間を設定して、OK ボタンをクリックします。
温度感知ボックスは 6 分ほど黄色に変わります。

10-1 NORMAL（平均温度）を非表示にする場合

1. ライブビュー>マウスの右クリック> [ツール]> [カメラ設定]
2. チャンネルでカメラチャンネルをプルダウンメニューから選びます。
3. [カメラ設定]をクリックすると、カメラのOSDメニューが開きます。
4. 「↓」を使用して「THERMAL」>「DISPLAY」に移動します。
5. 「ANALYSIS」をOFFにします。▶でON/OFFの変更できます。
6. 「RETURN」で、OSDメニューの最初のページまで戻ります。



カメラ OSD メニュー

6. 「EXIT」>「↓」>「SAVE&EXIT」で保存し、OSDメニューを終了します。

11. ファームウェア (F/W) について

このマニュアルは以下の F/W に基づき、作成されています。

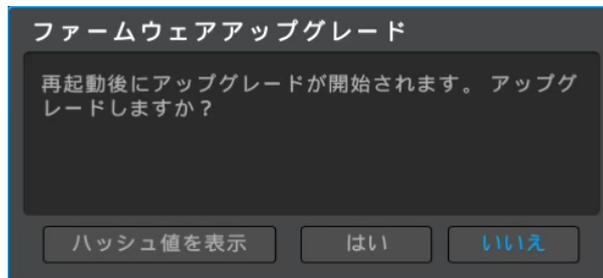
- a. ETV-BTH1POE : v2.0.20
- b. NBN-H1N4P4-T36.5 : v10.5.23T

11-1 ファームウェアアップグレード

USB メモリを用いてファームウェアを更新することができます。

USB メモリ更新の手順

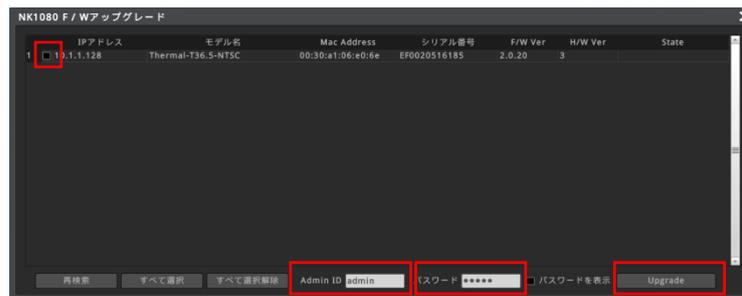
- 1 ファームウェアファイルをUSBメモリースティックにコピーして、NVRのUSBポートに差し込みます。
- 2 ライブビュー>マウスの右クリック>システム>メニュー>ユーティリティ
- 3 ファームウェアアップグレードのボタンをクリックします。
- 4 “はい”を選択すると以下のメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。



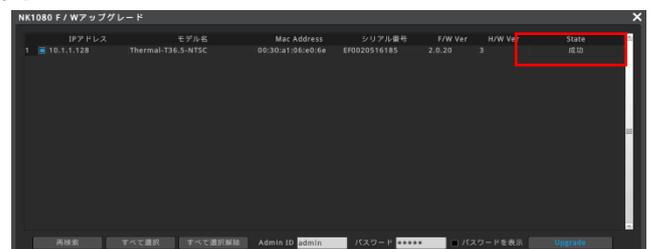
- 5 ファームウェアのアップグレード処理がスタートします。(アップグレード中に操作はしないでください) アップグレードが終了すると、自動的に処理が完了します。

カメラのファームウェアファイルを USB メモリースティックにコピーしている場合、以下を表示します。

(POE ポートに接続中のカメラは NVR からアップグレードが可能です。)



1. アップグレードするカメラを選択します。(青：オン、黒：オフ)
2. カメラのdminIDと、パスワードを入力したら、「Upgrade」をクリックします。
パスワードはバーチャルキーボードを使って入力します。パスワードを確認したい場合は「パスワードの表示」を選択します。
カメラ初期設定は、dminID : admin、パスワード:12345 です。
State に「成功」と表示されればアップグレード完了です。
右上の[X]をクリックしてライブビューに戻ります。



12. 掲示板

エルモケイグランデで用意されている掲示板は以下のみです。

検 温 中

カメラの1.5m先で3秒間停止してから進んでください

販売店にご確認ください。

1. USBはFAT32 USB formatを行ってください。
2. 提供されたイメージファイルを USB メモリにコピーします。
3. USBメモリをNVRに挿入するとビープ音が鳴り再起動します。再起動後にイメージが適用されます。

注意：

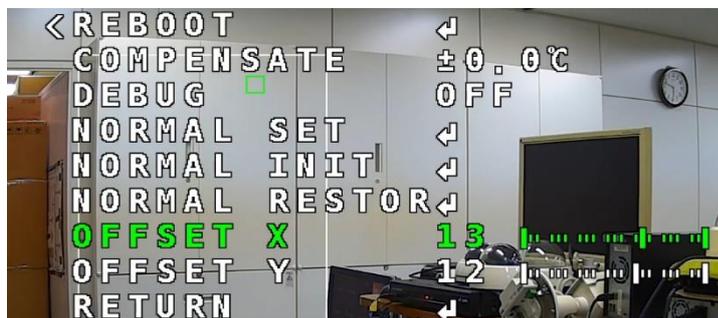
ユーザー側で作成したい場合は販売店にご相談下さい。

「掲示板」は、画面上の掲示板のチェックボックスで表示/非表示を切り替えます。

13. 温度表示ボックスの座標補正

温度を表示するボックスの位置がずれている場合は、手動で調整することができます。

1. ライブビュー>マウスの右クリック> [ツール]> [カメラ設定]
2. チャンネルでカメラチャンネルをプルダウンメニューから選びます。
3. [カメラ設定]をクリックすると、カメラの OSD メニューが開きます。
4. カメラ OSD > THERMAL > SYSTEM > OFFSET X / OFFSET Y



4. カメラ設定の◀▶を使用しOFFSET X / OFFSET Yを移動させ、温度表示ボックスの座標補正を行います。

14. 録画データを検索および再生する方法



測定された温度データを NVR に保存し、日別の入室者に対する温度推移の確認が可能です。

1. ライブ画面下部の[検索]メニューをクリックします。又はライブビュー>マウスの右クリック>検索>録画データの最後に移動を選択します。
(メニューに入る前に、アラーム時間設定メニューなど他メニュー項目を閉じます)
2. カレンダーの日付をクリックします。
3. 左下の「タイプ」リストで「熱感知」を選択します。
4. チャンネルイベントリストの[熱感知オン]をクリックすると、異常な温度検知時の録画が表示されます。
5. ▶ をクリックすると、録画が再生されます。[ライブ]をクリックすると、ライブビューに戻ります。

15. バックアップ

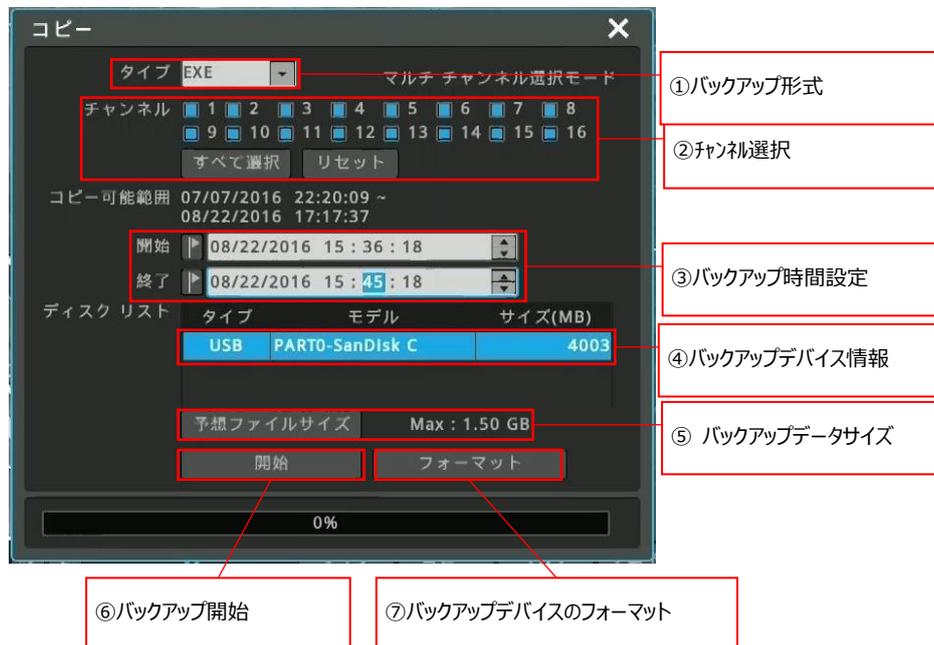
HDD の録画データを USB メモリにバックアップすることができます。

バックアップ USB : FAT32 (最大 32 GB)

1. ライブ画面下部の[検索]メニューをクリックします。又はライブビュー>マウスの右クリック>検索>録画データの最後に移動を選択します。
(メニューに入る前に、アラーム時間設定メニューなど他メニュー項目を閉じます)
2. [コピー] をクリックしてバックアップメニューを起動させます。

15-1 バックアップメニューの説明

バックアップメニューは次の通りです。各項目を上から順番に設定することで、HDD の録画データを USB メモリーにバックアップすることができます。



①バックアップ形式：USB メモリーにバックアップするファイルの形式を選択します。

EXE と AVI が選択可能ですが通常は「EXE」を選択してください。

②チャンネル選択：バックアップするチャンネルを選択します。

チャンネル番号の横の□をクリックすると、□が水色の表示に変わり、選択した状態になります。すべてのチャンネルを選択する場合は「すべて選択」をクリックします。また、選択を全て解除する場合は「リセット」をクリックします。（AVI でバックアップする場合は 1 チャンネル毎の選択です。複数チャンネルを同時に選択することはできません。）

③バックアップ時間設定：バックアップする時間を設定します。

「開始～終了」の間の録画映像を USB メモリーにバックアップします。開始と終了に日付時刻を設定します。

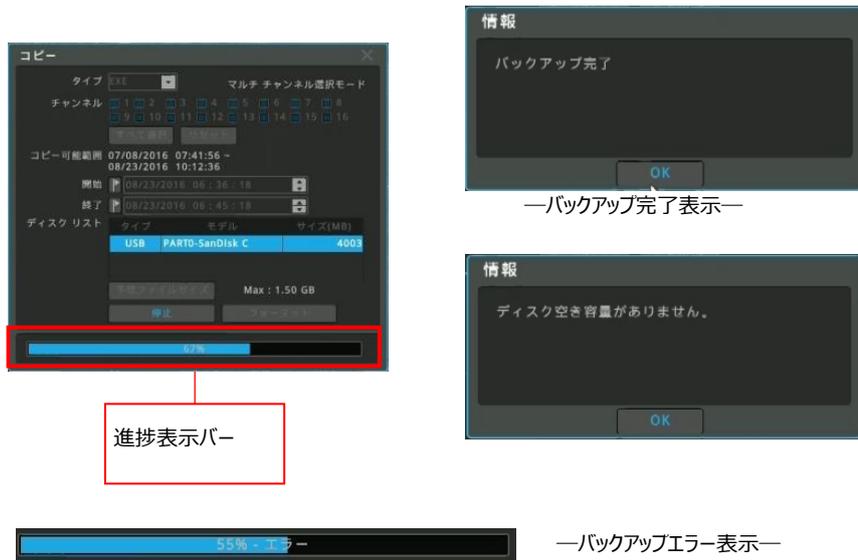
④バックアップデバイス情報：DVR に接続した USB メモリーの情報が表示されます。

⑤予想ファイルサイズ：バックアップするファイルのサイズを計算して表示します。

⑥開始：①～③の設定が完了したら、[開始] をクリックすると、バックアップをスタートします。バックアップ中は進捗状況をバー表示します。

進捗が 100%となり、正常に USB メモリーにデータの書き込みが完了すると「バックアップ完了」のメッセージがポップアップします。

バックアップデータサイズが USB メモリーの空き容量よりも大きい場合、「バックアップエラー」のメッセージが表示されます。別の USB メモリーを用意するか、バックアップ時間やチャンネル選択数を変更してデータサイズを調整してバックアップし直してください。



⑦フォーマット：USB メモリーをフォーマットします。フォーマットを行うと、USB メモリーの既存のデータはすべて消去されます。

15-2 バックアップファイルの閲覧

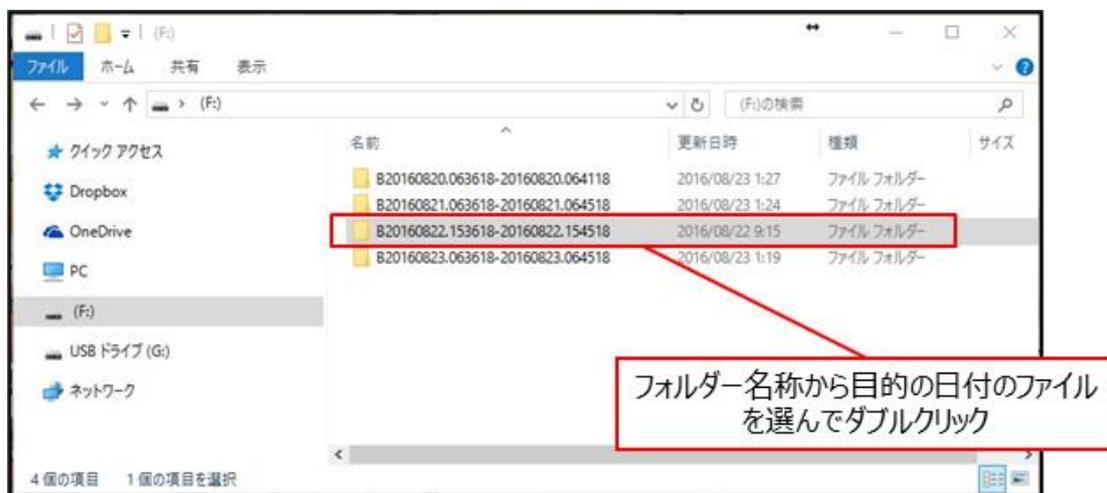
USB メモリーにバックアップした EXE ファイルを PC で再生します。

1. PC の USB ポートにバックアップデータの入った USB メモリーを挿入します。
2. エクスプローラでメディアを開くと、バックアップしたデータのフォルダーがあります。

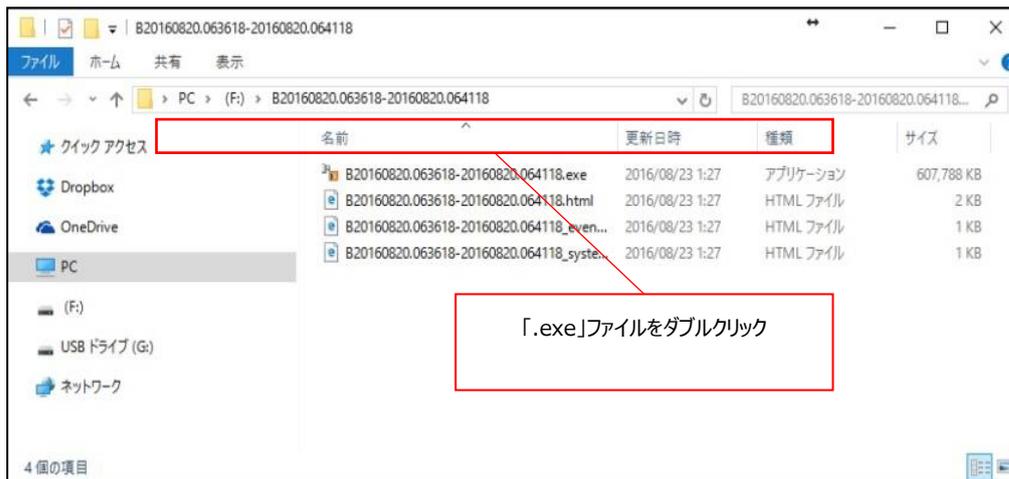
フォルダーの名称はバックアップした日付、時刻になっています。

例：2016 年 8 月 20 日 06 時 36 分 18 秒～ 8 月 20 日 06 時 41 分 18 秒

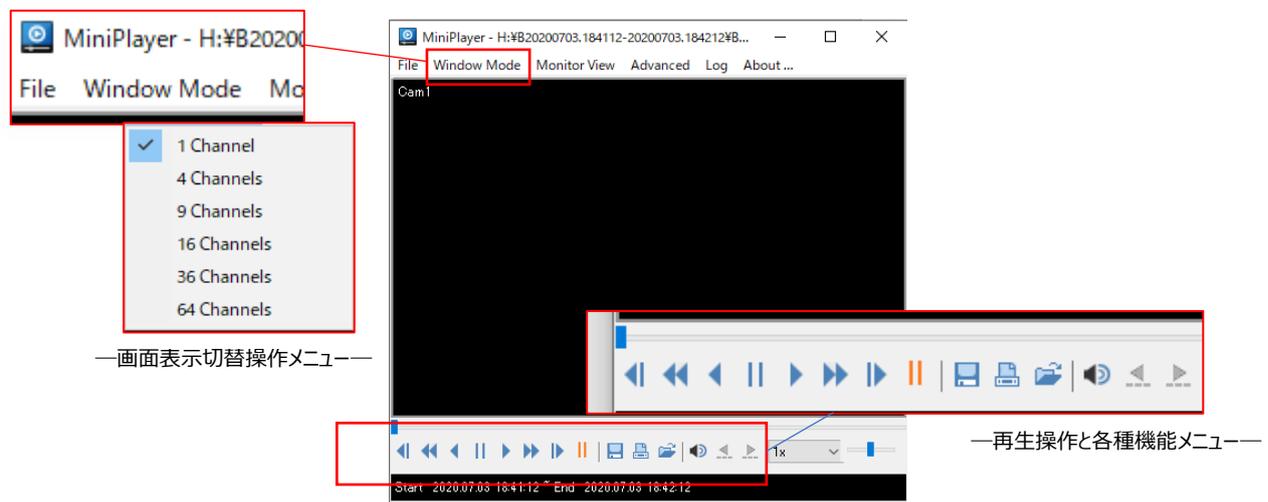
↳ B20160820.063618-20160820.064118



3. 目的の日付のフォルダーをダブルクリックすると、バックアップしたデータが表示されます。複数のデータが表示されますが、その中の「.exe」ファイルをダブルクリックします。(AVI でバックアップした場合は [.avi] ファイルをダブルクリックします。)



4. 再生画面が起動します。画面の構成と操作方法は以下の通りです。
(AVI ファイルの場合は.avi ファイルに関連付けされたプレイヤーが起動します。)



①画面表示切替

表示モードを切替えます。Window Mode をクリックすると、割画面の選択ができます。

②再生操作及びその他の機能

	再生位置表示及び変更 ※1
	再生、逆戻し再生
	1 秒コマ送り、1 秒コマ戻し
	一時停止
	スナップショット ※2
	フォルダーを開く
	音声の ON/OFF
	分割表示グループの送り、戻し ※4

※1 現在の再生位置を表示しています。

スライダーをドラッグして位置を変えることにより、再生位置を変更できます。

※2 スナップショット（静止画）を保存します。

スナップショットの手順は以下の通りです。

- ①スナップショットを保存したいシーンで再生を一時停止します。
- ②スナップショットを保存したいチャンネルを選択します。1 画面にするか、希望するチャンネルをクリックして選択します。
- ③スナップショットアイコンをクリックします。
- ④スナップショットメニューがポップアップします。

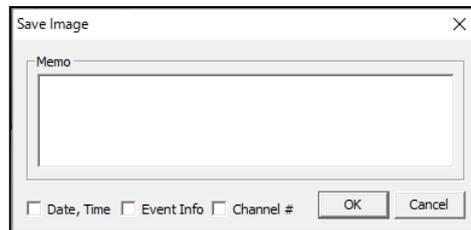
画像にテキスト表示する項目を設定して [OK] をクリックします。

Memo→画像にコメント等のメモをテキスト表示します

Date,Time→画像に日付、時刻を表示します

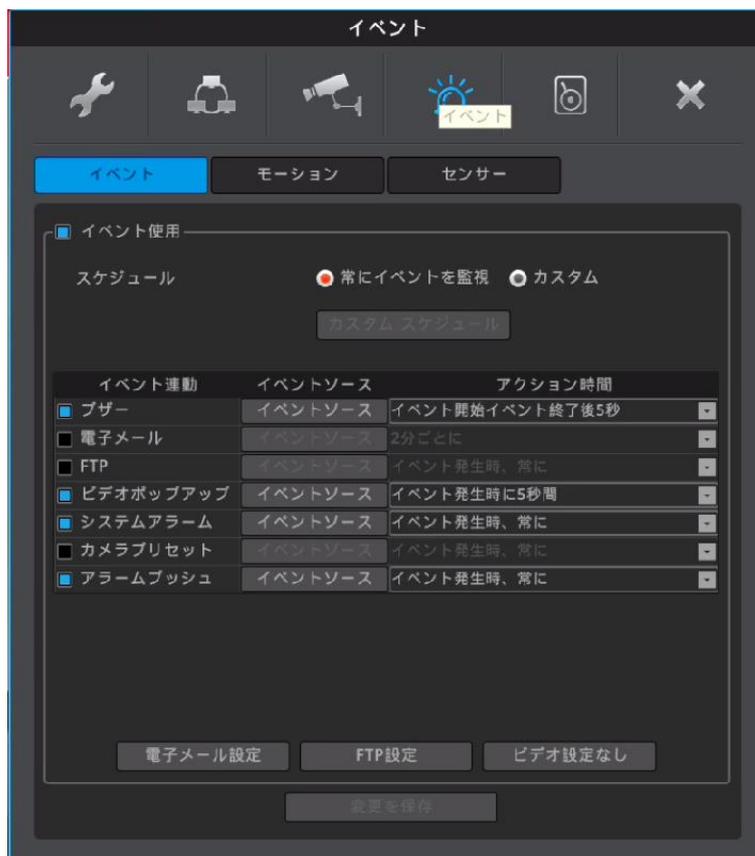
Event Info→画像にイベントアイコンを表示します

Channel→画像にチャンネル番号を表示します



- ⑤ エクスプローラが起動しますので、保存場所を選択して、ファイル名を入力して[保存]をクリックします。

16. ブザー音を OFF にする方法



1. ライブ画面の下部にあるメニューをクリックします。（最初にアラーム温度設定メニューを閉じます）
2. 画面上部の  アイコンをクリックします。
3. イベント連動の「ブザー」の選択を外します。（青：オン、黒：オフ）
4. 下部にある [変更を保存] をクリックし、右上の[X]をクリックしてライブビューに戻ります。

ブザー音は 1～20 秒の間で設定できます。

製品保証書



製品名 _____

型名 _____

シリアルNo. _____

販売店 _____

設置年月日 20 年 月 日 _____

本書は上記製品に万一故障が発生した場合に、下記記載内容により無償修理を保証するものです。

(無料修理規定)

- 1) 無料保証期間は、お買い上げ時より18ヶ月となります。
 - 2) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を、負わないものとします。
 - 3) 取扱説明書、その他説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理を致します。
 - (1) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。
 - (2) 保証期間内でも次の場合には原則として有料となります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、誘導雷、その他天災地変、及び公害、塩害、電圧異常指定、
外の使用電源などによる故障および損傷。
 - (ニ) 車両、船舶に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
 - (ホ) コンピューターウイルスによって生じた故障、および損傷。
 - (ヘ) 本製品に接続している当社指定以外の機器、消耗品に起因する故障および損傷。
 - (ト) 本書のご提示がない場合。
 - (チ) 本書に設置年月日、販売店の記入のない場合。
 - 4) 記憶装置（ハードディスク・DV・SDカード等）に記憶されたデータは故障や障害の原因にかかわらず保証致しかねます。
 - 5) 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。

ELMO K-grande Corporation

発売元 株式会社 エルモケイグランデ